

平成25年度 学校経営計画に対する最終評価報告書

石川県立翠星高等学校

No. 1

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	判定	集計結果	分析（成果と課題）及び来年度に向けて（改善策等）
1 地域の環境問題に積極的に関わる意欲と態度を育成する。	① 校内環境美化に積極的に取り組む。	校内の環境・美化に積極的に取り組んでいると答えた生徒が A 90%以上 B 70%以上 C 50%以上 D 50%未満	B	校内の環境美化に積極的に取り組んでいると答えた生徒の割合は73%であった。	今年度は、保健委員が中心となり、校内の環境美化に取り組んだ。その活動成果により生徒の校内の環境美化に対する意識が向上したようである。来年度はこの運動をさらにすすめ、生徒の美化意識の向上を図りたい。
	② ふるさと石川の「里山里海保全」の大切さについて理解を深める。	里山里海保全の大切さが理解できた生徒の割合は A 90%以上 B 70%以上 C 50%以上 D 50%未満	C	里山里海の大切さが理解できていると答えた生徒の割合は55%であった。	本校では、里山里海の保全活動を3つのコースの研究会が行っている。しかし、学校全体としての取り組みは少ないため、個々の生徒は、その意識が希薄なようである。来年度は、より多くの生徒が里山里海の保全活動に参加できる機会を設けるとともに、講演会や発表会を開催し、全校生徒の里山里海保全への意識向上に努めたい。
学校関係者評価委員会の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・整理・整頓、掃除など美化活動は生活の基本であり、社会に出ても求められることである。そのため、担当の分掌が責任を持ってしっかりと指導した方がよい。 ・石川の農業高校として、里山里海の保全活動は、大きな意味があるので継続して取り組むべきである。 				
学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・校内環境美化については、保健課と特活指導課が連携を図り、生徒の意識を高める指導体制をつくりたい。 ・里山里海の保全活動は、講演会や発表会も含めて、全校生徒が参加できるような行事を実施したい。 				

平成25年度 学校経営計画に対する最終評価報告書

石川県立翠星高等学校

No. 2

2	学習意欲の向上と基礎学力の定着を図るとともに、進路実現に向けてキャリア教育の充実・強化に取り組む。	① 10分間の朝学習（翠星タイム）を実施し、基礎学力等を身につける。	基礎学力を身につけることができたと思う生徒の割合が A 90%以上 B 70%以上 C 50%以上 D 50%未満	C	基礎学力が身についたと答えた生徒の割合は62%であった。	昨年度より、1、2年生は新たなテキストを導入し、朝学習に取り組んでいる。来年度は基礎学力の定着が実感できるように、実力判定テスト等を活用するなど指導の工夫を行いたい。また3年生について、学習内容の検討を行いたい。
		② 生徒の授業評価や研究授業、互いの授業参観を通して、授業の工夫・改善を図り、「分かる授業」に積極的に取り組む。	授業が「分かりやすい」と満足している生徒の割合は A 90%以上 B 70%以上 C 50%以上 D 50%未満	B	授業が分かりやすいと答えた生徒の割合は72%であった。	数年来、学校全体として「分かる授業」を目指して互見授業を推進し、授業の工夫・改善に取り組みの成果と思われる。今後も、研究授業や互見授業の取り組みを推進していきたい。
		③ 3年間を見通し、各年次に応じたキャリア教育を積極的に展開し、全員の進路実現に取り組む。	就職試験1回目の内定率が A 70%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満	A	今年度の就職試験1回目の内定率は84%であった。	昨年度と比較して、今年度は大幅に内定率が向上した。これは、進路指導課と学年団の連携のもと、2年生の後期から就職に向けての意識付けを行い、3年生の早い段階から面接練習を行うなど、就職試験の指導に取り組んだ成果と思われる。来年度は、今年度の成果を活かし、進路指導の体制をより充実させたい。
学校関係者評価委員会の評価		<ul style="list-style-type: none"> 朝学習は短い時間を有効に使って、効果的に学習させる必要がある。 キャリア教育では、これまでの指導に加えて、生徒に資格取得に積極的に取り組むように指導してもらいたい。 				
学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策		<ul style="list-style-type: none"> 翠星タイム（朝学習）の3年間の学習内容を確立し、基礎学力の向上に努めたい。 キャリアガイダンス、課題研究、総合実習におけるキャリア教育の流れを見直すとともに、生徒の積極的な資格取得の推進に取り組むたい。 				

平成25年度 学校経営計画に対する最終評価報告書

石川県立翠星高等学校

No. 3

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	判定	集計結果	分析（成果と課題および後期の扱い（改善策）
3 社会人として必要な生活習慣や規範意識、マナー等の向上に取り組む。	① 登校指導や授業等を通して挨拶の習慣化に積極的に取り組む。	マナーが向上したと答えた生徒の割合は A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B	言葉遣いや服装・挨拶などマナーが向上したと答えた生徒の割合は78%であった。	生徒会を中心に「マナー環境美化週間」を設定するなど、学校全体としてマナーの定着に取り組んでいる成果が少しずつ表れていると思われる。しかし、教師から声をかけないと、挨拶が返ってこない生徒も多く、今後とも、学校あげての取り組みが必要である。
	② 基本的な生活習慣の確立を目指し、遅刻や欠席者の減少に取り組む。	前年度に比べ、遅刻者の減少割合は A 30%以上 B 20%以上 C 10%以上 D 10%未満	D	前年度に比べ、遅刻者の割合は178%であり、大幅に増加した。	昨年度は689人、今年度は1232人であった。12月までの延べ人数で、約2倍という大幅な増加であった。今年度の月ごとの遅刻者数をみると、夏休み以降に、大幅な増加が見られ、何らかの指導が必要である。来年度は、保護者にも協力を呼びかける中で、学校全体として遅刻者の減少に向けて、日々の指導を徹底していきたい。
	③ 登校指導、下校指導等を行い、交通安全指導に取り組む。	前年度に比べ、指導を受けた生徒の減少割合は A 30%以上 B 20%以上 C 10%以上 D 10%未満	A	前年度に比べ、指導を受けた生徒の割合は46%減少している。	昨年度が303件、今年度は163件で46%の減少であった。これは、学校全体で取り組んでいる下校時の交通指導の成果がでてきているためと思われる。今後も、交通安全講話等を通して、生徒の心に訴えていくとともに、日々の交通安全指導を充実させていきたい。
4 部活動など課外活動への積極的な参加を促し、活力のある学校づくりに取り組む。	① 講演会や研修会などを積極的に取り入れ、部や研究会活動の活性化に取り組む。	部や研究会活動などに積極的に活動する生徒の割合は A 80%以上 B 70%以上 C 50%以上 D 50%未満	C	部や研究会活動などに積極的に参加していると答えた生徒の割合は69%であった。	今年度は、生徒全員の部活動加入の指導を徹底した。その取り組みが、生徒の意識向上につながったと思われる。日頃の様子をみても、研究会活動や部活動に励む生徒が少しずつ増えてきており、学校全体としての活気も出てきている。
	② 農業クラブ活動の活性化に取り組み、全国大会への出場者増加に取り組む。	農業クラブ全国大会への出場者は A 16名以上 B 11名以上 C 6名以上 D 学校枠の5名のみ	C	今年度は農業鑑定競技4名、農業情報処理競技2名の合計6名であった。北信越ブロック大会では、意見発表部門やプロジェクト発表の部門においては優秀には入ったが、最優秀はなかった。	今後は、長期的な計画でプロジェクト発表部門、意見発表部門の強化を含めて、農業クラブ活動全体の指導体制確立を検討していきたい。
学校関係者評価委員会の評価	<ul style="list-style-type: none"> マナー、遅刻、服装は、生活の基本であるから、職業高校として、しっかりと指導する必要がある。 農業クラブは、農業高校の生徒にとって最も大切な活動である。是非、その活性化に取り組むべきである。 				
学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> 登校指導における挨拶、服装容儀指導のほか、日頃の学校生活における声かけを通して、ベル着、規範意識、マナーの向上に努めたい。 遅刻指導は、保護者の協力を仰ぐ中で、学校全体として取り組みたい。 部活動の全員加入を継続するとともに、農業クラブ活動の活発化を図るために、研究会活動を活性化させる中で、意見発表やプロジェクトを計画的に進めるように努めたい。 				